



で育てる

森をフィールドに良い子を育てる

都市化が進んでいる流れの中で、そこに住む人々、特に子どもたちと自然とのふれあいの重要性が高まっており、教育のフィールドとしても森は大きな役割を担っています。



サマーキャンプ

例年朝日地域の小学生と鶴岡地域の小学生と一緒に大鳥地区の森林での自然体験を通して交流し、生きる力を学んでいます。



森の保育事業

市街地の保育園が、四季を通して豊かな自然に恵まれた大網保育園の子どもたちと、森の中で交流する取り組みも進められています。



大鳥自然の家

自然学習施設として様々な自然体験プログラムを展開しており、多くの方が利用しています。また特色あるむらづくりの拠点にもなっています。



磐梯朝日国立公園月山ビジターセンター

自然景観や地形、気候の特色、動植物の生態など、地域の自然について紹介しています。また希望により、ボランティアが館内や野外での解説サービスを行っています。(写真は森の観察会)



最後の鷹匠 松原英俊 in 古の里森林公園

子どもたちが伝統習俗である「鷹匠」見学を通して、普段接することのない森林の動物たちの世界を垣間見ることによって森林文化を感じてもらうことを目的に開催しました。